

第3回 一宮市健康づくりウォーキング大会のご案内

～開明の旧跡と奥町東部めぐり～

ID 1004911

日時 11月23日(土・祝)午前9時(受付8時30分～)
(雨天決行。ただし警報が出た場合は中止。)

距離 約 4.8km

参加費 無料

集合場所 一宮西病院
(開明字平1番地)

主催 一宮市健康づくりサポーター協議会

申し込み 当日集合場所で受付

問い合わせ 今枝まで ☎090-9186-9755 (平日午前9時～午後5時)

※駐車場には限りがありますのでご承知おきください。

※今年度はウォーキング大会を4回開催します。

(以降は2月を予定しています。)

※全4回完歩の方には完歩賞、3回完歩の方には達成賞を差し上げます。

一宮市健康づくりサポーター養成講座を受講して、健康づくりサポーターとして私たちと一緒に活動しませんか。
養成講座のご案内は、健康ひろば12・1月号(2019年11月1日発行)をご覧ください。

子どもを事故から守ろう(やけど)

乳幼児の身の回りにはやけどの危険がいっぱい!!

●お茶、味噌汁、カップ麺などでのやけど

テーブルクロスやテーブルマットは子どもが引っ張り、容器を倒す原因になるため使わないようにしましょう。



●電気ケトル、ポット、炊飯器でのやけど

コードを引っ張り熱湯を浴びる可能性があります。電気ケトルやポットはお湯が出ないようにロックしましょう。炊飯器は蒸気でやけどするため手の届かないところに置きましょう。



●調理器具やアイロンでのやけど

フライパンや鍋は調理中だけでなく、調理後も高温のことがあるため触れないように注意しましょう。アイロンはテーブルの端に置かないように、コードは手が届かないように注意しましょう。



●ドライヤーやヘアアイロンでのやけど

ドライヤーの熱風は同じ個所にあてすぎないように注意しましょう。ヘアアイロンは使用後も熱があるため、手が届かないように注意しましょう。

●ウォーターサーバーでのやけど

ウォーターサーバーのボタンに触れ、お湯が出てしまい、やけどをしてしまう事故が増えています。子どもをウォーターサーバーに近づけないようにしましょう。また、チャイルドロックを使用しましょう。

基本は子どもの手の届かないところに置く! それでも、やけどをしてしまった時は↓

すぐに水道水やシャワーなどの流水で15～30分程度、やけどをした部分を直接又は服を脱がさず服の上から冷やしましょう。なお、市販の冷却シートは、やけどの手当てには使えません。

●やけどの範囲が片足、片腕以上の広範囲にわたる場合
→救急車を呼ぶか、大至急病院を受診

●やけどの範囲が手のひら以上の大きさの場合や水膨れの場合
→潰さないようにし、病院を受診

【消費者庁 事故防止ハンドブックより】